



ファーム・イン さぎ山

(埼玉県さいたま市)

「農ある暮らし」で人づくり 農村文化の発信

未就学児から高齢者まで、幅広い年齢層の方たちと地域交流を図り、体験を通して食と農の大切さを伝えています。特に高齢者のもつ伝統技術や知恵、食文化を受け継ぎ、次世代へと継承していく橋渡しを担っています。



みんなで田植え

農の持つ奥深さや可能性を知るにつれ、農のある暮らしこそ人づくり・国づくりに通じることだと思えます。「食育は農業体験から」を合言葉に地域を見直し、これからの子供達に何が残せるかを心に留め、農村文化を発信して参ります。



ファーム・インさぎ山
萩原 さとみ

農を核にしたつながり

平成9年より、農業体験、調理・加工体験、農村生活体験等を通じて、食と農の大切さを消費者に伝える活動を実施。食の安全・安心、教育問題、福祉・生きがいづくり、環境問題、予防医学、雇用の場、観光、癒やし、子どもの立ち直り支援など様々な角度から、農業の価値を発信しています。



味噌づくり体験

次世代へ継承する活動

子ども、親子、中高生、大学生、大人を対象として、保育園、小学校、特別支援学校、調理師専門学校、企業、NPOなどと連携し、年間88回の体験活動を行い、延べ8,330人の方に参加していただきました。伝統技術や知恵、食文化を次世代へ継承する活動により、やりがいを感じる高齢者の雇用にもつながっています。



わら炊きごはん